

人生100年時代のセカンドライフ

山梨県笛吹市の「終の住処」なら標準年金でも家族に負担をかけずに生涯安心・充実の田舎暮らしができます。

現在の住居との買い替えで新築のオールバリアフリー住居への移住を考えてみませんか。

「終の住処」第1号棟(モデルハウス)

東京から
電車や車で
約90分

「終の住処」の田舎暮らし



株式会社 セカンドライフサポート TEL: 03-6304-8715

<http://sls.tokyo/>



人生100年時代の生涯安心・充実のセカンドライフ

人生100年時代のセカンドライフは豊かな自然の中で穏やかな田舎暮らしをしたいという願望があっても、75歳以上の後期高齢者になると約3人に1人が要介護状態になるという現実があります。

セカンドライフの田舎暮らしは、将来支援や介護が必要になっても家族に負担をかけずに、標準年金でも生涯安心できる支援・介護・福祉サービスが受けられる移住先でなければなりません。

「終の住処」の田舎暮らしプロジェクトは、セカンドライフサポートとNPO法人・地域福祉サポート笛吹が協働し、地方公共機関や地域協力者などとも連携して、移住後の田舎暮らしに必要なあらゆるサポートをいたします。

「終の住処」の田舎暮らしプロジェクト



NPO法人・地域福祉サポート笛吹の野澤今朝幸理事長



「地域福祉サポート笛吹」を2019年に開設したのは、営利のための事業ではなく、地域の皆様に社会貢献をしたいという熱い思いからでした。私たちは支援や介護が必要な方々に寄り添い、心の通った福祉サービスを提供し続けていることを誇りにしています。新しく笛吹市に移住してこられる方が、安心してセカンドライフを楽しんでもらえるよう、一層の努力をしていきたいと思っています。

東京から
電車や車で
約90分

笛吹市は桃と葡萄と温泉の桃源郷

笛吹市は、首都圏から電車や車で約90分。富士山と八ヶ岳連邦に囲まれた景観の中に、桃とぶどうの果樹園が広がり、天然温泉が豊かに湧き出る桃源郷のような地方都市です。近隣には、風光明媚な国内屈指の観光スポットやゴルフ場などもたくさんあって、リゾートのような利便性も楽しめます。田舎暮らしの移住先として、山梨県は常に上位に選ばれています。



JR	特急かいじー約1時間30分	新宿駅	石和温泉駅
		横浜駅	八王子駅
※横浜駅からの場合、横浜線にて八王子駅乗り換え			
高速道路	中央自動車道	一宮御坂I.C.	
	圏央道	中央自動車道	笛吹八代I.C.
※新宿から約2時間、横浜から約2時間20分			
高速バス	新宿(石和経由甲府駅行)	一宮	
	横浜(土日祝、特定平日)	石和	
※新宿から約2時間20分、横浜から約2時間30分			



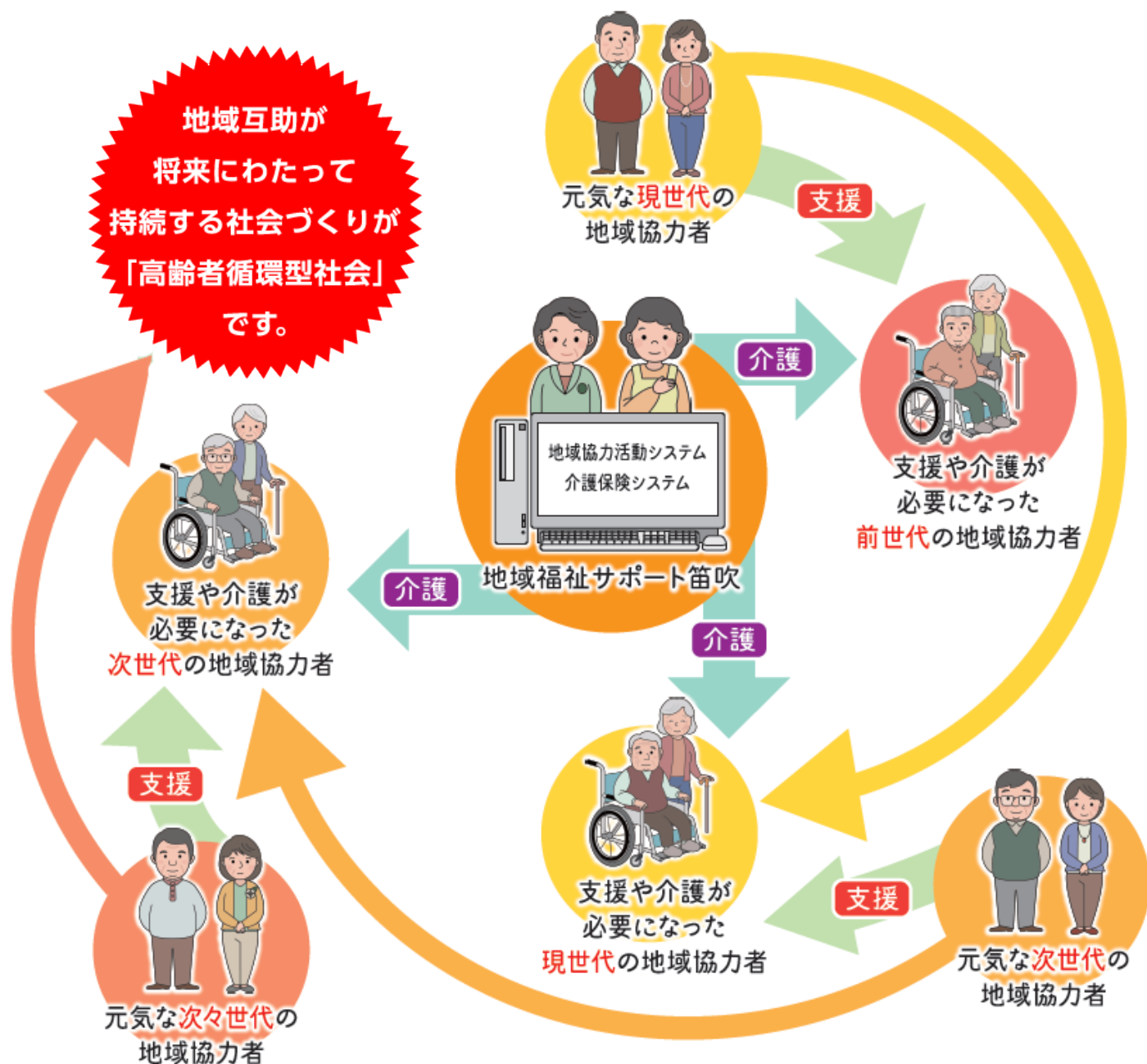
地域協力活動による高齢者循環型社会

人生100年時代。
将来、支援や介護が
必要になるのは
避けて通れない現実！

75歳以上の後期高齢者になると約3人に1人が要介護状態になるという現実があります。

2025年度には介護を必要としているのに介護サービスを受けられない「介護難民」が全国で約43万人、首都圏の1都3県では約13万人になると推測されています。

地域福祉サポート笛吹は超高齢者社会が到来すれば、健康で元気な高齢者が支援や介護の必要な高齢者に協力する地域互助が必要不可欠になることを予見して、地域協力活動による高齢者循環型社会の仕組みを長年にわたって作り上げてきました。



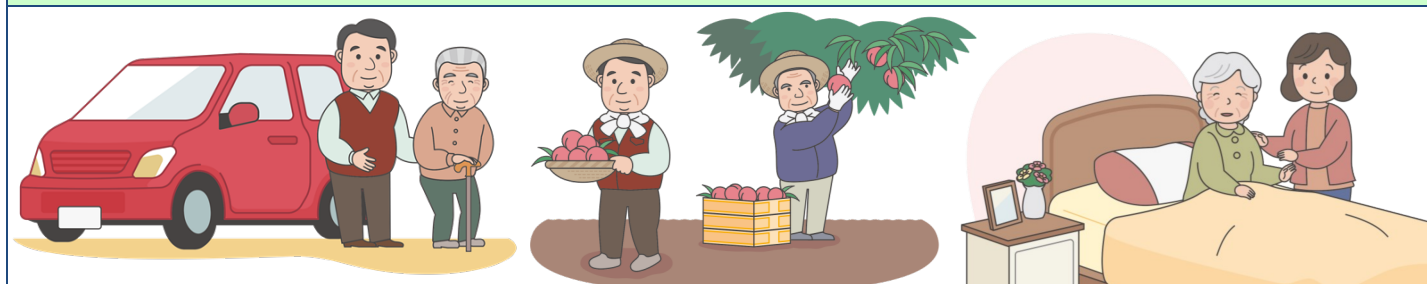
健康で元気なときの暮らし

地域コミュニティの参加や生活利便施設・趣味・観光のアドバイス



地域協力者などが利用する地域福祉サポート笛吹の地域コミュニティ拠点施設に気軽に立ち寄っていただき、地域福祉事業推進室の担当者や地域協力者などから、地域コミュニティの参加や生活利便施設・趣味・観光などについてのアドバイスを受けることによって、「終の住処」の田舎暮らしを快適に過ごすことができます。

地域協力活動への参加や農業手伝・介護補助職への従事



地域協力活動への参加希望者には地域協力者として支援活動をしていただくことで規定費用が支払われ、農業手伝や介護補助職への従事希望者には農家や地域福祉サポート笛吹で就業していただくことで報酬が支払われます。将来支援が必要になったときのため、また地域社会への貢献や地域コミュニティを形成するためにも積極的な参加や従事をおすすめいたします。

標準年金の高齢者夫婦(夫65歳・妻60歳)の暮らし比較

「終の住処」の生涯収支金額(30年間)と標準月額家計支出

年金収入	家計支出	月額収支	生涯収支	+	農業手伝・介護補助職・ 地域協力活動の収入
20.0万円/月	18.5万円/月	+1.5万円/月	+540万円		

公租 公課 1.9	保険 医療 1.6	住居 1.0	食料 4.6	水道 光熱 1.5	家具 用品 0.8	被服 履物 0.7	交通 通信 2.5	教育 娯楽 1.6	交際 その他 2.3	合計 金額 18.5
-----------------	-----------------	-----------	-----------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	------------------	------------------

大都市の生涯収支金額(30年間)と標準月額家計支出

年金収入	家計支出	月額収支	生涯収支	+	収支不足分は預貯金の 取り崩し・非正規雇用の収入
20.0万円/月	23.7万円/月	-3.7万円/月	-1,332万円		

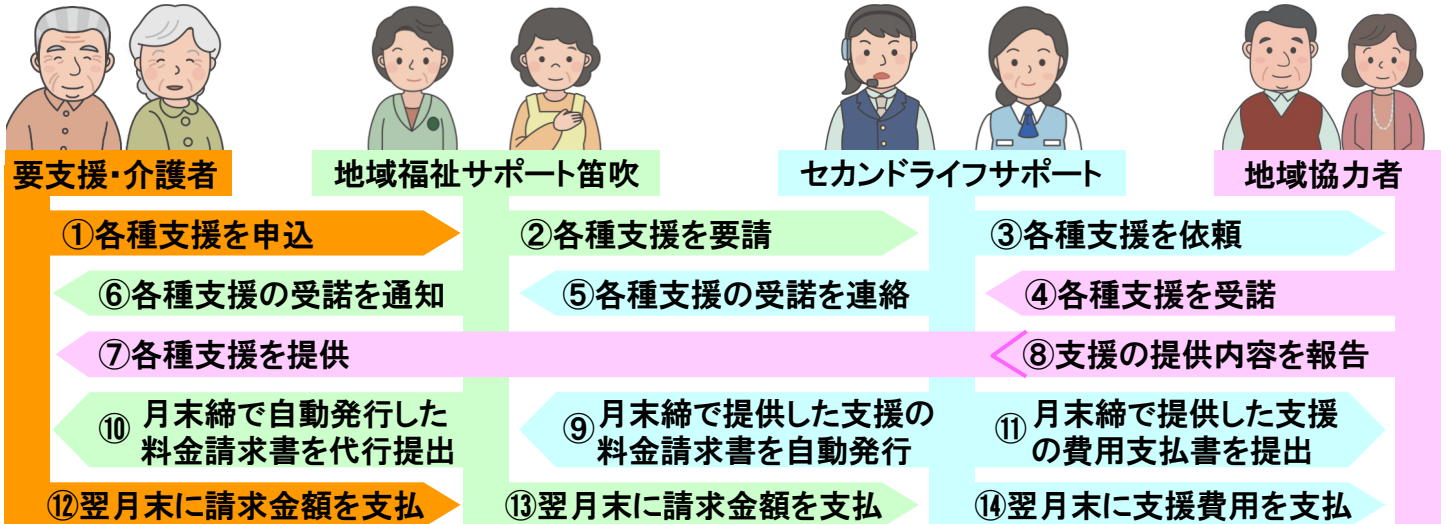
公租 公課 2.8	保険 医療 1.6	住居 1.4	食料 6.5	水道 光熱 1.9	家具 用品 0.8	被服 履物 0.7	交通 通信 2.8	教育 娯楽 2.5	交際 その他 2.7	合計 金額 23.7
-----------------	-----------------	-----------	-----------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	------------------	------------------

地域福祉サポート笛吹・地域福祉事業推進室の宮崎豊子室長

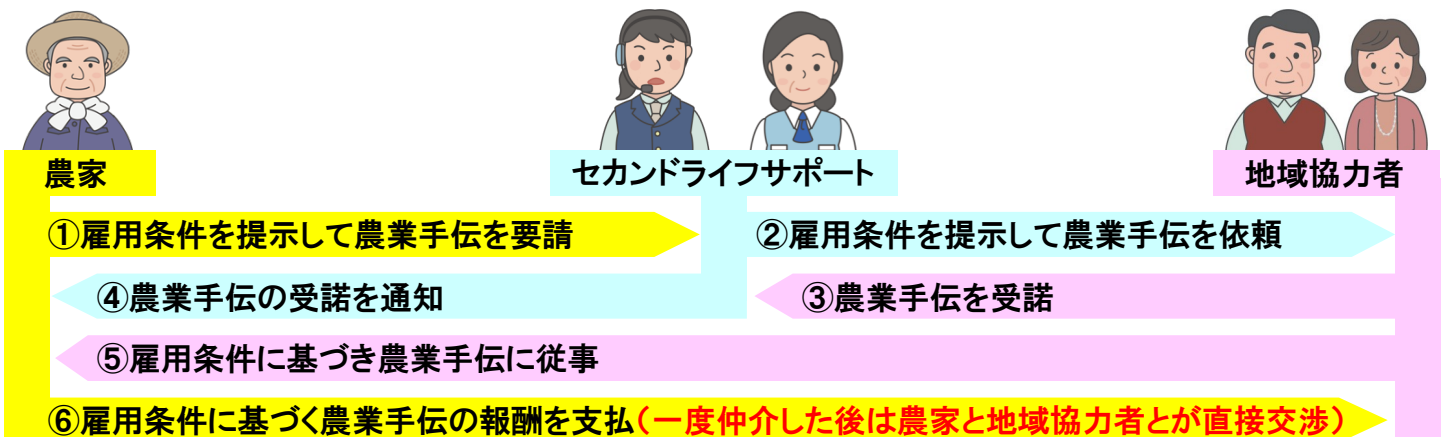


近くの生活利便施設を知りたい、趣味を始めたい、近くの観光巡りをしたい、地域コミュニティや地域協力活動に参加したい、地域社会への貢献のために地元の農業の手伝いや介護補助職に従事したいといった希望については、私たちが移住してこられた方のそばに寄り添いながら、できる限りのお手伝いをさせていただきます。

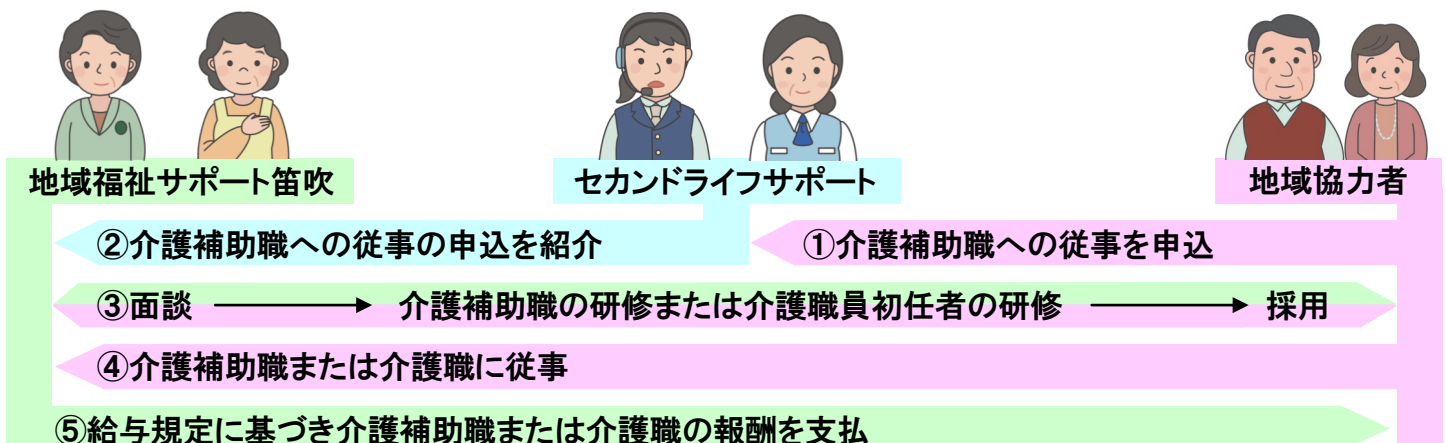
外出支援・日常生活支援・買物代行支援などの地域協力活動



果樹園などの農業手伝



地域福祉サポート笛吹の介護補助職



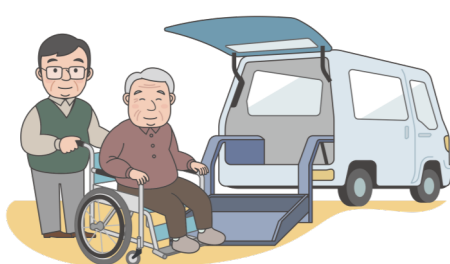
支援や介護が必要になったときの暮らし

地域福祉サポート笛吹の中村悦子センター長



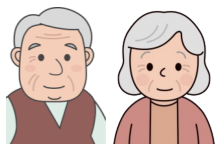
「絆のサービスがあるから家で看続けられるよ」あるご家族からいただいた言葉が私の誇りであり理想であり信念です。支援や介護が必要なあらゆる方を受け入れ、笑顔で過ごせる居場所をつくることに尽力します。年金生活の方でもご家族に負担をかけずに、住み慣れた地域の中で最期まで暮らし続けられるための支援・介護・福祉サービスを全力で提供することをお約束します。

地域協力者の支援や通所・居宅・入所介護サービスの提供



車社会の田舎暮らしで運転が困難になったときなどには地域協力者による外出支援・日常生活支援・買物代行支援などを低額な有償ボランティア費用で受けられ、介護が必要になったときには地域福祉サポート笛吹が運営する各種の介護施設で心の通った通所・居宅・入所型のさまざまな介護福祉サービスを受けられますので生涯安心して暮らすことができます。

時間外ディサービスなどの介護保険外サービスの提供



要支援・介護者



地域福祉サポート笛吹

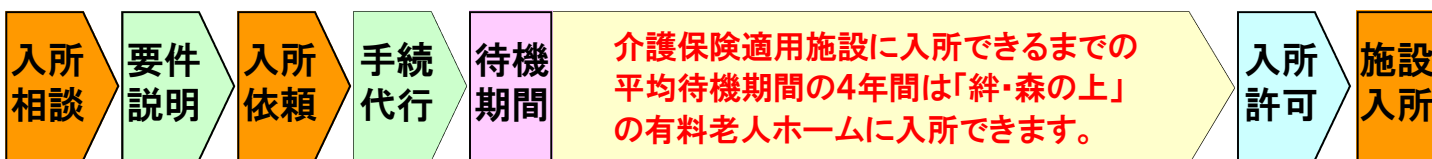
①時間外ディサービスなどの介護保険外サービスを申込

②時間外ディサービスなどの介護保険外サービスを提供

③月末締で提供した介護保険外サービスに係る利用料の請求書を提出

④翌月末に介護保険外サービスに係る利用料の請求金額を支払

特養などの介護保険適用施設への入所サポート



介護保険適用施設に入所できるまでの平均待機期間(4年間)の費用比較

大都市の有料老人ホーム費用			「絆・森の上」の有料老人ホーム費用		
初期費用	月額費用	合計費用	初期費用	月額費用	合計費用
なし	約32万円	1,536万円	なし	約10万円	480万円

地域福祉サポート笛吹の通所・居宅・入所介護施設

絆・介護支援センター



通所介護事業所

居宅介護支援事業所

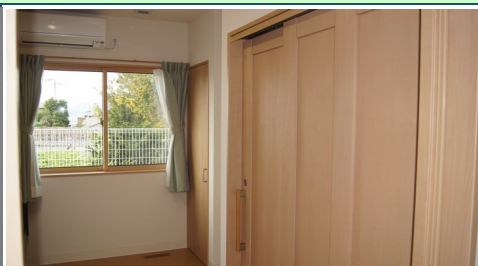


絆・森の家



通所介護事業所

有料老人ホーム事業所



暮らしに関するサポート



介護認定の申請が必要になられた方、特養などの介護保険適用施設への入所が必要になられた方、生活上の困りごとなどの暮らしに関するさまざまな問題や相談について、地域福祉サポート笛吹が親身に寄り添って全面的にサポートいたします。

総合通報システムの受信と対処

●急病などの緊急時



●介護などの要請時



●安否確認の必要時



緊急通報時の
通報メッセージ例
「緊急事態発生です」
利用者の住所と
氏名と電話番号

要請通報時の
通報メッセージ例
「介護要請です」
利用者の住所と
氏名と電話番号

安否通報時の
通報メッセージ例
「安否確認が必要です」
利用者の住所と
氏名と電話番号

アルファ受信センター



必要に応じて利用者を訪問



「終の住処」には総合通報システムが設置してあり、必要に応じて作動できるように設定いたしますので、いつでも希望する各種通報の受信と対処をそれぞれの利用料で 사용할ことができます。



人生の最期を迎えたときの準備

誰もが迎える人生の最期については、残されたご家族を困らせないために生前の準備をおすすめいたします。セカンドライフサポートがお墓を建てたい場合はお寺や霊園、樹木葬などの散骨や墓じまいをされたい場合は信頼できる専門業者をご紹介します。

互恵納骨堂の利用

セカンドライフサポートは「終の住処」の田舎暮らしプロジェクトの基本理念である互助活動の一環として、八王子市の富士見台霊園に100霊収蔵できる互恵納骨堂を建之いたしました。地域協力活動などに貢献された方は、少額な初期費用だけで五十回忌まで利用することができます。



オールバリアフリー住宅の「終の住処」

「終の住処」の第1号棟(モデルハウス)

「終の住処」は日本住宅性能評価機構による
10年間保証の住宅です。



※モデルハウスを除くオプションの
外構工事などはCGで作成したイメージ図です。

選択式注文住宅の建築とアフターサービス

オールバリアフリーの選択式注文住宅の建築やオプションの外構工事などは、地元の信頼できる工務店が責任をもって施工いたします。アフターサービスも工務店が地元のため、迅速な対応ができますので安心していただけます。



現住居の売却・賃貸・買い替えの受託



現在の住居を売却や賃貸したい、売却資金で「終の住処」を買い替えたい場合には、セカンドライフサポートが業務提携している不動産業者が責任をもって受託いたします。

選択式注文住宅の「終の住処」

選択式注文住宅の「終の住処」のプロセス

土地の決定

「終の住処」の土地は生涯の暮らしに必要な生活利便施設、介護福祉施設、趣味・観光場所などをご覧いただいたうえで決定していただきます。

不動産購入申込書の提出と建築確認の申請

決定した「終の住処」の不動産購入申込書を提出していただいた後、選択式注文住宅の建築確認を申請いたします。

不動産売買契約書の締結と選択式注文住宅の建築

建築確認済証が発行された後、「終の住処」の不動産売買契約を締結したうえで、住宅性能保証制度に適合した選択式注文住宅を契約内容に従って、お渡しした各種の図面と外観図どおりに責任をもって建築いたします。

選択式注文住宅の決定

モデルハウスをご覧いただいた後、三次元ソフトと大型ディスプレイを使用し、選択式注文住宅の仕様を選んでいただきながら決定いたします。選択式注文住宅の完成イメージを画像で確認できますので安心していただけます。三次元ソフトで作成した各種の図面と外観図や御見積書をお渡しいたします。



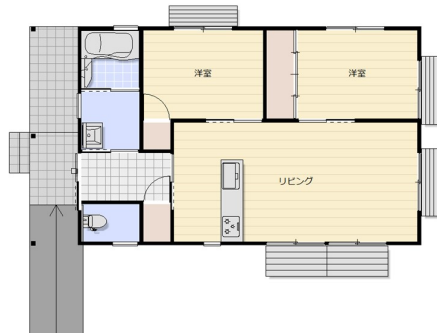
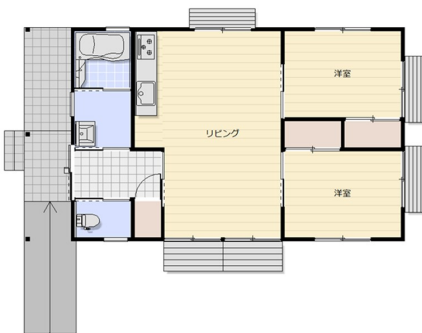
「終の住処」(1,500万円より)の基本仕様

土 地		建 物		付帯設備	
面積	165㎡以上	面 積	72.46㎡(2LDK)・89.85㎡(3LDK)	L D K	システムキッチン・吊戸棚
		様 式	新築木造平屋建(オールバリアフリー)	洋 室	クローゼット
権利	所 有 権	電 気	東京電力	トイレ	ウォシュレット・手洗・フルオート洗浄
地目	宅 地	上下水	公共上下水道(一部の地域は簡易水道・合併処理浄化槽)	洗面所	化粧洗面台
接道	認定道路			浴 室	ユニットバス・手摺
形状	平 坦 地	ガ ス	プロパン	全 室	手摺取付用下地施工

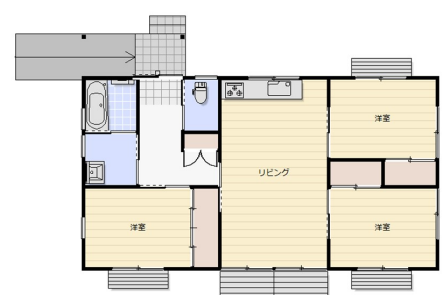
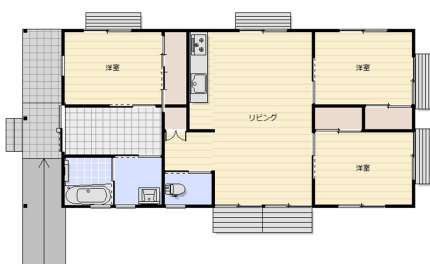
外部仕上		内部仕上	床	壁	天井	天井高
屋 根	ガルバリウム鋼板	玄 関	タイル張り	ビニールクロス	ビニールクロス	2,500mm
外 壁	サイディング	L D K	複合フローリング	ビニールクロス	ビニールクロス	2,600mm
玄関扉	断熱アルミサッシ	洋 室	複合フローリング	ビニールクロス	ビニールクロス	2,500mm
開口部	断熱アルミサッシ	トイレ	CFシート	ビニールクロス	ビニールクロス	2,400mm
ポーチ	タイル張り・手摺	洗面所	CFシート	ビニールクロス	ビニールクロス	2,400mm
スロープ	モルタル仕上	浴 室	ユニットバス(1616タイプ)			

オールバリアフリーの「終の住処」

2LDK住宅の完成図例と間取図例



3LDK住宅の完成図例と間取図例



大都市の高齢者は 介護難民の予備軍

※各種表は
厚生労働省・
総務省・内閣府の
資料に基づき
算出しています。



65歳～74歳の
前期高齢者



75歳以上の
後期高齢者



高齢者総数

現在と10年後の高齢者

2015年集計	1,755万人	1,650万人	3,405万人
2025年推計	1,479万人	2,179万人	3,658万人
後期高齢者の増加数		約500万人	2025年問題

要支援・介護高齢者

2015年現在

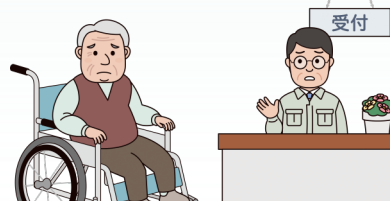
要介護5	7.1万	51.4万	58.5万
要介護4	7.6万	63.8万	71.4万
要介護3	9.0万	68.4万	77.4万
施設入所が可能な要介護3以上の高齢者			207.3万
要介護2	13.4万	89.8万	103.2万
要介護1	13.8万	101.4万	115.2万
要支援2	12.0万	69.9万	81.9万
要支援1	12.5万	73.6万	86.1万
合 計	75.4万	518.3万	593.7万

入所介護福祉施設

2015年現在

施設名称	入所定員(利用者数)
介護老人福祉施設	51.8万人
地域密着型介護老人福祉施設	4.9万人
認知症対応型共同生活介護施設	19.0万人
介護療養型医療施設	6.3万人
介護老人保健施設	36.8万人
短期入所生活介護施設	(33.5万人)
合 計	152.3万人

入所介護福祉施設が不足している中でも大都市ほど多数の入所希望者が待たされているのが現状です。特に首都圏では、介護需要の急増によって介護に携わる人材不足にも拍車をかけています。施設や病院などで介護を受けることができない要介護高齢者を介護難民と呼ぶことから、大都市の高齢者は介護難民の予備軍と言えるのです。年金・健康保険・介護保険の共助制度は少子高齢化と、団塊世代の約800万人が後期高齢者に突入する「2025年問題」により存続が困難になっています。その対策として厚生労働省は地域支援事業と地域包括ケアシステムを制定、内閣府は日本版CCRC構想の提唱を始めました。



地域支援事業と地域包括ケアシステム

要支援認定の高齢者は2018年度から介護保険から外され、市町村の地域支援事業の対象になり、要介護認定1と2の高齢者は2025年度をめどに介護保険から外され、市町村の地域包括ケアシステムの対象になります。

日本版CCRC構想

日本版CCRC構想とは大都市の介護難民、地方の限界集落化と創生に対する打開策として、大都市の高齢者が自らの意志で地方に移住し、地域社会に貢献し、自宅で人生の最期まで暮らせる体制づくりです。



株式会社 セカンドライフサポート

● 山梨事業所 〒406-0023 山梨県笛吹市石和町八田330-161
TEL:055(287)6628 FAX:055(287)6638

● 東京事業所 〒164-0012 東京都中野区本町4-7-14-101
TEL:03(6304)8715 FAX:03(6304)8716
<http://www.sls.tokyo> Eメール:info@sls.tokyo



特定非営利活動法人 地域福祉サポート笛吹

◎ 絆・介護支援センター 〒406-0832 山梨県笛吹市八代町竹居1235-1
TEL:055(265)5133 FAX:055(288)9011

◎ 絆・森の上 〒406-0822 山梨県笛吹市八代町南346-3
TEL:055(288)9001 FAX:055(298)4110
<http://kizuna.social> Eメール:info@kizuna.social